

令和元年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

施設名： 大阪府立少年自然の家

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目 (3)利用者の増加・サービスの向上を図るための具体的手法・効果	④広報・情報発信の取組みが適切になされているか	・インバウンド系列旅行会社への営業活動に加え、修学旅行等、団体旅行者に利用してもらうという施策を打つのが良いと考える。 ・最近のSNSツールの主流がInstagramになっているのであれば、それを効果的に活用してはどうか。	教育旅行、団体旅行及びインバウンド系列旅行会社への営業については、継続して積極的な営業活動に努められたい。また、利用者の目的やニーズ分析を行い、効果的な広報媒体を活用しながら、より一層の取組みを願う。	・教育旅行や団体旅行、インバウンド系列旅行会社には引き続き営業を進めていく。 ・Instagramは、評価委員会議以降、数名体制で投稿をあげており、Facebookと連動しているため、これらのSNSを活用しイベント情報等を挙げていく。
I 提案の履行状況に関する項目 (5)府施策との整合	「環境問題への取組み」の提案の実施状況は適切か	廃棄食材の処理や、プラスチックごみの圧縮、再生可能エネルギーといった取り組みについても今後考えていただきたい。	プラスチックの資源循環の推進など、更なる環境への取り組みに期待する。	当施設で販売したペットボトルごみはほぼ販売業者に持ち帰ってもらっている。キャップの回収にも取り組んでいる。今後、更なる取り組みに努める。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目 (2)安定的な運営が可能となる人的能力	①管理運営業務全体として職員体制は適切か	残業がやや一部の職員に固まっているように見受けられる。適切な勤務時間の管理に引き続きご留意いただきたい。	職員の勤務時間の偏りが無いよう改善していただきたい。	特に厨房職員の勤務時間に偏りの無いように留意するとともに、繁忙期と閑散期の格差が大きいため、厨房の年間単位の変形労働時間制を導入することを検討している。